



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東・名

上場会社名 日本ガイシ株式会社

コード番号 5333 URL <http://www.ngk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 卓

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 神藤 英明 (TEL) 052-872-7230

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	210,582	25.3	41,331	43.7	40,261	49.8	27,488	36.8
27年3月期第2四半期	168,013	18.5	28,764	46.3	26,874	37.2	20,097	59.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 23,407百万円(△25.3%) 27年3月期第2四半期 31,314百万円(13.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	84.18	84.03
27年3月期第2四半期	61.55	61.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	725,533	422,663	56.6
27年3月期	702,234	404,001	55.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 410,409百万円 27年3月期 392,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
28年3月期	—	18.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	13.6	72,000	16.9	74,500	22.0	51,000	22.9	156.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社()、除外 一社()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	327,560,196株	27年3月期	327,560,196株
28年3月期2Q	1,015,579株	27年3月期	1,033,304株
28年3月期2Q	326,532,728株	27年3月期2Q	326,545,462株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(その他の注記事項)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続きました。海外では、アジア新興国等において弱さが見られたものの、米国や欧州など先進国を中心に緩やかに回復しました。

当社グループにおきましては、セラミックス事業では、米国・欧州市場の乗用車販売や米国市場のトラック販売が好調であったこと等から、自動車関連製品の需要が堅調に推移しました。エレクトロニクス事業では、半導体メーカーの微細化・高積層化投資を背景に半導体製造装置用セラミックス製品の需要が増加したほか、平成27年1月に連結子会社となったNGKエレクトロデバイス株式会社の業績が加わりました。電力関連事業においても、海外向けに電力貯蔵用NAS®電池（ナトリウム／硫黄電池）の大口案件を出荷いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比25.3%増の2,105億82百万円となりました。利益面でも、売上高の増加や為替円安の影響等により、営業利益は前年同期比43.7%増の413億31百万円、経常利益は同49.8%増の402億61百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同36.8%増の274億88百万円となりました。

セグメント別には、電力関連事業では売上高は前年同期比19.9%増の338億11百万円、営業利益は3億90百万円（前年同期は15億93百万円の営業損失）、セラミックス事業では売上高は同15.2%増の1,227億71百万円、営業利益は同26.5%増の349億79百万円、エレクトロニクス事業では売上高は同62.5%増の540億63百万円、営業利益は同122.5%増の59億62百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は7,255億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ232億98百万円増加いたしました。これは、主として有価証券が減少した一方で、現金及び預金、たな卸資産等が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて46億37百万円増の3,028億70百万円となりました。これは、主として長期借入金や競争法関連損失引当金が減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金等が増加したことによるものであります。

また、純資産合計は、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ186億61百万円増加の4,226億63百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、セラミックス事業で自動車関連製品が堅調に推移していることに加え、電力関連事業において九州電力向けにNAS®電池の大口案件を受注し、当期に出荷が予定されるため、見直したものです。なお、下期の連結業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル115円、1ユーロ130円としております。

（期中平均為替レート1米ドル119円、1ユーロ132円）

平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	420,000	68,000	69,000	48,000	147.00
今回修正予想 (B)	430,000	72,000	74,500	51,000	156.18
増減額 (B - A)	10,000	4,000	5,500	3,000	-
増減率 (%)	2.4%	5.9%	8.0%	6.3%	-
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	378,665	61,577	61,068	41,504	127.11

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,958	91,806
受取手形及び売掛金	88,979	85,532
有価証券	98,104	87,038
たな卸資産	111,498	122,123
その他	29,841	31,624
貸倒引当金	△1,220	△1,339
流動資産合計	397,160	416,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	63,621	63,517
機械装置及び運搬具(純額)	89,258	91,524
その他(純額)	46,380	49,768
有形固定資産合計	199,259	204,810
無形固定資産	4,185	3,664
投資その他の資産		
投資有価証券	78,856	75,529
その他	22,935	24,906
貸倒引当金	△162	△163
投資その他の資産合計	101,629	100,272
固定資産合計	305,074	308,747
資産合計	702,234	725,533

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,057	34,794
短期借入金	4,320	5,110
1年内返済予定の長期借入金	6,345	26,903
未払法人税等	3,480	5,900
N A S 電池安全対策引当金	7,342	6,540
競争法関連損失引当金	9,300	—
その他	40,279	44,790
流動負債合計	107,126	124,040
固定負債		
長期借入金	145,537	132,195
退職給付に係る負債	20,222	20,336
その他	25,345	26,297
固定負債合計	191,106	178,829
負債合計	298,232	302,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,849	69,849
資本剰余金	72,099	72,086
利益剰余金	224,040	246,630
自己株式	△1,403	△1,402
株主資本合計	364,585	387,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,394	22,998
繰延ヘッジ損益	7	4
為替換算調整勘定	7,983	6,796
退職給付に係る調整累計額	△6,915	△6,556
その他の包括利益累計額合計	27,469	23,244
新株予約権	886	968
非支配株主持分	11,060	11,285
純資産合計	404,001	422,663
負債純資産合計	702,234	725,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	168,013	210,582
売上原価	109,869	136,837
売上総利益	58,143	73,744
販売費及び一般管理費	29,379	32,412
営業利益	28,764	41,331
営業外収益		
受取利息	331	351
受取配当金	645	813
為替差益	736	—
競争法関連損失引当金戻入額	—	※1 1,151
その他	617	758
営業外収益合計	2,330	3,075
営業外費用		
支払利息	1,055	993
持分法による投資損失	1,196	1,047
為替差損	—	1,857
客先補償損失	1,100	—
その他	867	247
営業外費用合計	4,219	4,146
経常利益	26,874	40,261
特別利益		
固定資産売却益	549	27
投資有価証券売却益	357	224
補助金収入	—	153
特別利益合計	906	405
特別損失		
固定資産処分損	167	137
特別損失合計	167	137
税金等調整前四半期純利益	27,613	40,529
法人税、住民税及び事業税	4,563	8,808
法人税等調整額	2,542	4,037
法人税等合計	7,105	12,845
四半期純利益	20,507	27,683
非支配株主に帰属する四半期純利益	409	195
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,097	27,488

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	20,507	27,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,592	△3,416
繰延ヘッジ損益	△4	△2
為替換算調整勘定	4,891	△1,204
退職給付に係る調整額	252	298
持分法適用会社に対する持分相当額	75	48
その他の包括利益合計	10,806	△4,276
四半期包括利益	31,314	23,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,856	23,263
非支配株主に係る四半期包括利益	457	143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(その他の注記事項)

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社グループは、競争状況に関して国際的な調査の対象となっております。

平成23年に当社の米国子会社が米国司法省より文書提出命令を受領し、当社は、自動車用触媒担体に関する当該調査に対し、平成24年に独立委員会を設置するなど、協力してきました。平成27年9月3日(米国時間)には、当社は米国司法省との間で自動車用触媒担体の取引の一部に関して米国反トラスト法違反などがあったとして、罰金6,530万米ドルを支払うことを主な内容とする司法取引に合意いたしました。

これに関連して、一部顧客とは上記米国反トラスト法違反などに関する損害賠償の交渉を行っています。今後、損害賠償金等の金銭的負担が生じる可能性があります。現時点で連結財務諸表に与える影響額を合理的に見積もることは困難です。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 競争法関連損失引当金戻入額

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

平成27年9月3日(米国時間)に、当社は米国司法省との間で自動車用触媒担体の取引の一部に関して米国反トラスト法違反などがあったとして、罰金6,530万米ドルを支払うことを主な内容とする司法取引に合意いたしました。

前連結会計年度末に計上した競争法関連損失引当金93億円と今回の罰金との差額については、営業外収益の「競争法関連損失引当金戻入額」に計上しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電力関連 事業	セラミックス 事業	エレクトロ ニクス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,174	106,561	33,277	168,013	—	168,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	44	—	62	△62	—
計	28,193	106,605	33,277	168,076	△62	168,013
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△1,593	27,657	2,679	28,743	20	28,764

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額20百万円は、セグメント間取引の調整であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電力関連 事業	セラミックス 事業	エレクトロ ニクス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,795	122,723	54,063	210,582	—	210,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	48	—	64	△64	—
計	33,811	122,771	54,063	210,647	△64	210,582
セグメント利益 (営業利益)	390	34,979	5,962	41,331	—	41,331

□ はH27/5公表値

□ はH27/5公表値

	27年3月期 第2四半期累計		28年3月期 第2四半期累計		前年 同期比	27年3月期 通期		28年3月期 通期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比	見通し	構成比	
売上高合計	億円 1,680	100%	2,100 億円 2,106	100%	+25%	億円 3,787	100%	4,200 億円 4,300	100%	+14%
<海外売上高合計>	<1,176>	70%	<1,570>	75%	+33%	<2,708>	72%	<3,000>	70%	+11%
営業利益(%)	(17%) 288		350 (20%) 413		+44%	(16%) 616		680 (17%) 720		+17%
電力関連事業	282	17%	338	16%	+20%	728	19%	850	20%	+17%
営業利益(%)	(-) △16		(1%) 4		-	(-) △24		(3%) 25		-
セラミックス事業	1,066	63%	1,228	58%	+15%	2,272	60%	2,430	57%	+7%
営業利益(%)	(26%) 277		(28%) 350		+26%	(25%) 576		(26%) 620		+8%
エレクトロニクス事業	333	20%	541	26%	+62%	788	21%	1,020	24%	+30%
営業利益(%)	(8%) 27		(11%) 60		+122%	(8%) 63		(7%) 75		+19%
セグメント間売上消去	△1		△1			△1				
		売上高比		売上高比	前年 同期比		売上高比		売上高比	前期比
経常利益(%)	269	(16%)	340 403	(19%)	+50%	611	(16%)	690 745	(17%)	+22%
親会社株主に帰属する 当期純利益(%)	201	(12%)	240 275	(13%)	+37%	415	(11%)	480 510	(12%)	+23%
ROE	-		-			11.4%		12.4%		
1株利益	61.55円		84.18円			127.11円		156.18円		
配当金(配当性向)	13円		18円			28円(22.0%)		36円(23.1%)		
為替レート(円/USD)	104		122			110		119		
為替レート(円/EUR)	139		135			139		132		
設備投資	112	7%	207	10%	+85%	304	8%	570	13%	+88%
減価償却費	117	7%	135	6%	+15%	255	7%	280	7%	+10%
研究開発費	62	4%	80	4%	+29%	139	4%	175	4%	+26%

第2四半期累計期間の要点 … 前年同期比 増収・増益（第2四半期最高益）

①事業別業績概況(売上高、営業利益)

【電力関連】……………増収・黒字化

- ・がいし 国内向け懸垂がいしや避雷装置に加え、中近東向けの出荷が増加し増収増益。
- ・NAS 海外大口案件の出荷により増収。赤字縮小。

【セラミックス】……………増収・増益

- ・自動車関連製品 中国市場のトラック販売は低調も、米国・欧州市場の乗用車販売や米国市場のトラック販売が堅調に推移し、需要が増加。

【エレクトロニクス】……………増収・増益

- ・電子部品 2015年1月に買収したNGKエレクトロデバイスの上半期業績を反映。
- ・半導体製造装置用製品 データセンター向け半導体の需要増を背景に、半導体メーカーの高積層化・微細化投資が堅調に推移し需要増。

②為替影響：売上高 +90 億円、営業利益 +37 億円

- ・前年同期 104 円→当期 122 円/USD、139 円→135 円/EUR

通期 見通しの要点 … 売上高・利益共に過去最高^{*}を更新

* 売上高	3,787億円('15/3)
営業利益	694億円('08/3)
経常利益	693億円('08/3)
当期純利益	460億円('08/3)

①事業別業績概況(売上高、営業利益)

【電力関連】……………増収・黒字化

- ・がいし 国内外ともに需要は堅調に推移し、増収増益の見通し。
- ・NAS 海外大口案件や九州電力向けの出荷を見込み、増収・黒字化。

【セラミックス】……………増収・増益

- ・自動車関連製品 欧米市場の乗用車、米国市場のトラック販売は引き続き堅調に推移する見通し。欧州自動車メーカーの排ガス処理不正問題による影響は、現時点では不透明。

【エレクトロニクス】……………増収・増益

- ・電子部品 NGKエレクトロデバイスの業績を通期で反映し、増収増益の見通しもパッケージの需要は中国市場などで携帯基地局の投資遅れが生じており当初想定を下回る見通し。
- ・半導体製造装置用製品 半導体メーカーの設備投資が高水準で推移し需要が増加する見通し。

②為替影響：売上高 +64 億円、営業利益 +31 億円

- ・前期 110 円→当期 119 円/USD、139 円→132 円/EUR
(下期為替前提: 115 円/USD、130 円/EUR)

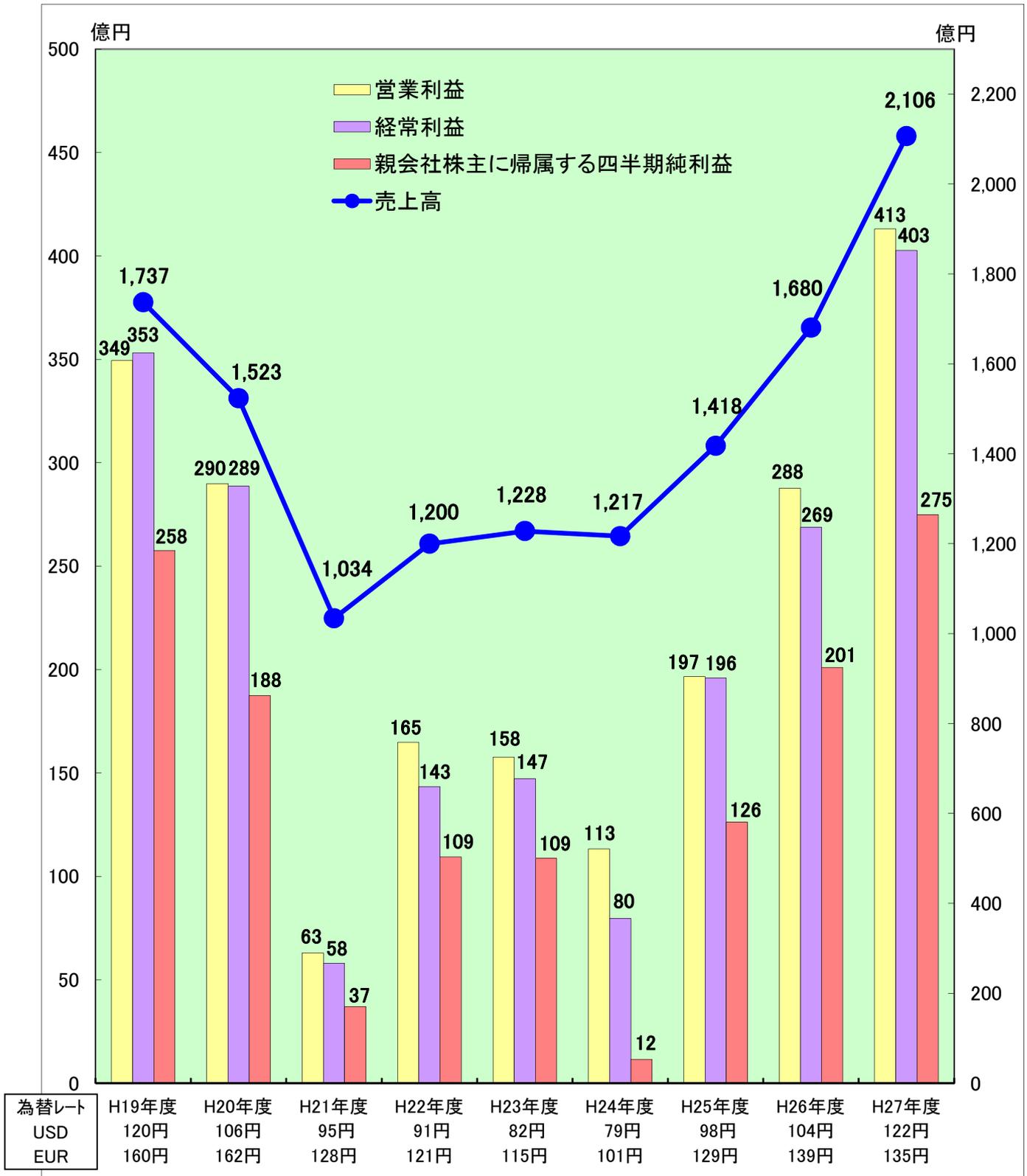
- ・年間 1 円当たりの影響: USD(売上高 11 億円、営業利益 4.5 億円)
EUR(売上高 6 億円、営業利益 1.9 億円)

③配当予想 中間 18 円、期末 18 円の年間 36 円を予定。

業績概況(連結・上半期)

(億円)

	前上半期(26年度)	当上半期(27年度)	前年同期比
売上高	1,680	2,106	+25%
営業利益	288	413	+44%
経常利益	269	403	+50%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	201	275	+37%



業績概況(連結・通期)

(億円)

	前期実績(26年度)	当期見通し(27年度)	前期比
売上高	3,787	4,300	+14%
営業利益	616	720	+17%
経常利益	611	745	+22%
親会社株主に帰属する 当期純利益	415	510	+23%



為替レート	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度予
USD	118円	104円	94円	88円	80円	83円	100円	110円	119円
EUR	162円	153円	130円	116円	111円	108円	134円	139円	132円
ROE	15.3%	8.1%	6.1%	8.0%	△12.6%	4.2%	8.6%	11.4%	12.4%
一株当り 当期純利益	136.36円	73.66円	54.51円	74.80円	△108.27円	34.98円	82.82円	127.11円	156.18円
一株当り配当金	22円	22円	16円	20円	20円	20円	22円	28円	36円